

安心・安全に過ごすための加治木っ子のやくそく

みなさんの安全を守ったり、お互いによりよい生活をしたりにするために、きまりがあります。

加治木小をよりよくするために、「加治木っ子のやくそく」を守りましょう。

1 学校の行き帰りについて

- ・ 行く時は、集団登校をしましょう。5、6年生は全員たすきを着けましょう。
- ・ 下校時は、できるだけ複数で帰るようにしましょう。
- ・ 学校の行き帰りには、必ず帽子（赤）をかぶりましょう。1年生は黄色。
- ・ 先生や友達、地域の方にあったら、顔を上げて元気よくあいさつをしましょう。
- ・ 決まった道を通り、横に広がらず、右側を歩きましょう。
- ・ 横断歩道を渡った時、止まってくれた車がいたら一礼しましょう。



2 服装・身なりについて

- ・ 学校の行き帰りは標準服を着て、ネームをつけましょう。
- ・ 靴は白、靴下は白、黒、紺の単色（スニーカーソックスは禁止。）。
- ・ 気温に合わせて標準服の下にベスト・セーターなどを着てもよいです。
- ・ 冬の寒いときは、おうちの人の判断でジャージや長ズボン、スパッツを着てもよいです。
- ・ ミサンガなど必要ない物は身に付けません。
- ・ 清潔で子供らしい髪型にしましょう。学習や給食のじゃまにならないように、長い髪は束ね、前髪は、目にかからない長さとし、のぼす時はピンなどで留めましょう（ヘアピンやヘアゴムは黒・紺・茶）。

3 持ち物について

- ・ 持ち物には、名前を書きましょう（書ける時は学年・組も。）。
- ・ 学習や学校生活に必要なもの以外の物は持ってきません。
- ※ 雨が降った時は、担任が準備したトランプなどを使います。
- ※ キーホルダーをランドセルや筆箱につけません。
- ※ 図工などで使う折り紙や校外学習で使うメモ帳などは、必要なときに担任が許可をだします。
- ・ 授業中は鉛筆を使いましょう（基本的にシャープペンシルは禁止。）。
- ・ 購買部で買う時は、おつりのないようにお金を持ってきましょう。
- ・ 忘れ物をして、安全のため、家には帰りません。



4 校内での過ごし方

- ・ 教室内では静かに過ごします。また廊下や階段、オープンスペースは、走らない・騒がない・右側通行。「は・さ・み」
- ・ 友達呼び捨てをせず、「さん」を付けましょう。
- ・ 靴箱前の赤い場所とすのこは、くつでは乗ってはいけません。
- ・ 児童玄関に入るときは、必ず足ふきを10回して、砂を落としましょう。
- ・ 傘はたたんで、傘掛けの外側からかけるようにしましょう。
- ・ 靴はかかとをそろえて、靴箱に入れましょう。
- ・ トイレは正しく使い、スリッパをそろえましょう。
- ・ 休み時間は、次の学習の準備をしてから休みましょう。
- ・ 校長室横の階段を、児童は使いません。
- ・ 事務室横の玄関は、先生方やお客さんが使います。
- ・ 非常階段は、非常時以外では使いません
- ・ 自分の教室以外には勝手に入りません。
- ・ 放課後や夏休みなど校舎内へ出入りする時は、許しをもらってから入りましょう。
- ・ 音楽室や理科室へ移動する時は、学級で並んで行きます。
- ・ 掃除の時間、集会の時（全体が集まる時）、放送が流れている時は、無言でします。
- ・ 職員室等へ入る時、出る時は、入・退室のあいさつをきちんとする。



【あいさつの例】

- 入： ○年○組の○○○○です。○○○○の用事で来ました。入ってもよいですか。
 （許可の返事があたら）失礼します。
- 退： 失礼しました。

5 校外での過ごし方

- ・ 家へ帰る時刻を守り、防災無線の放送は自宅で聞きます。
- ※ 10月～5月は午後5時、6月～9月は午後6時
- ・ 子供だけで校区外へは行きません。
- ・ 自転車は、3年生以上が校区内の公道で乗ることができます。※交通安全教室以降
- ・ 自転車に乗るときは、ヘルメットを必ず着けましょう。
- ・ 道路を横切るときは横断歩道を渡り、絶対に道路に飛び出しません。
- ・ 用のない時は、スーパーや商店街に子供だけで行きません。
- ・ 川・池遊び、魚釣り等は子供だけでしません。おうちの人とします。
- ・ エアーガン、レーザーポインター等は危ないので、使わないようにします。スケートボードは許可された場所で使用します。
- ・ インターネットを利用するパソコンや携帯、ゲーム機等は、フィルタリングをかけ、必ずおうちの人と使いましょう。
- ・ 友達の写真やプロフィール等の情報は、絶対にインターネット上にアップしません。
- ・ 見知らぬ人に誘われた時は、はっきり断ります。まずは警察とおうちの人に連絡しましょう。その後、学校にも伝えましょう。「いかのおすし」
- ・ 子供同士で、お金や物のやり取りやおごる、おごられるはしません。

